



発行：釜石山田道路安全協議会
代表：西松建設株式会社
編集・監修：国土交通省 南三陸国道事務所
建設監督官(釜石山田道路担当)
発行日：平成26年 9月 19日

(仮称)小鍬第2トンネルの着工式が行われました



大槌小学校4年生64名による大小っ子ソーラン

平成26年 9月4日(木)、三陸沿岸道路(釜石山田道路)の工事の一環として施工する(仮称)小鍬第2トンネル(L=975m)の着工式が、関係者120名の出席のもと、施工起点となる同トンネル坑口(大槌側)で行われました。

式典の冒頭、工事の無災害・無事故を祈念し、大槌町立大槌小学校4年生の児童64名による『大小っ子ソーラン』が披露されました。発注者を代表し、東北地方整備局南三陸国道事務所の佐藤和徳所長は「釜石山田道路は、災害時も寸断されることがなく、地域の安全、安心に大きく寄与する 早期の完成に向け努力する」と挨拶されました。施工者を代表し東亜建設工業の馬場隆之東北支店長は「重責を全うすべく、社の総力を結集し、施工にあたっていく」と決意を述べました。来賓の碓川豊大槌町長は「震災では国道45号が一部寸断され救援が途絶えた 三陸沿岸道路は、命の道であり希望の道」と祝辞を述べました。

式典では、大槌町長をはじめ、地元関係者、大槌小学校児童、発注者、施工者らが鍬入れを行い、工事の安全と早期完成を祈りました。

式典後には、大槌小学校4年生の児童を対象に、トンネル工事に使用する建設機械の見学会を行い、コンクリート吹付け機を児童たちに実際に操作して頂きました。



来賓による鍬入れ



トンネル坑口での記念撮影



トンネル建設機械の見学会

(仮称)小鍬第2トンネルの工事説明会が行われました

平成26年8月22日(金)、大槌町大ヶ口地内の大ヶ口多目的集会所において、(仮称)小鍬第2トンネル(延長975m)のトンネル工事着手に先立ち工事説明会が行われ、施工起点となる源水地区、大ヶ口団地、大ヶ口一丁目町営住宅およびトンネル貫通側となる桜木町にお住まいの方22名が出席しました。

説明会では、東亜建設工業(株)の施工担当者より、工事の概要やトンネルの施工方法、工事による周辺環境への影響(騒音、振動)および対応策等について説明がありました。

その後の質疑では、トンネル掘削に伴う発破音の影響に関する質問や町道町方大ヶ口線を通行する工事用車両の運行ルール等の質問がありました。

最後に、トンネル工事を進めるにあたって、近隣住民の方々からのご意見を伺い、必要な対策を講じることで、周辺環境への影響低減や安全確保に努めることを約束し説明会を終了しました。



施工業者による工事概要の説明

(位置図)



完成予想図(大槌側)



工事説明会の開催状況

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。 国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所 建設監督官(釜石山田道路担当)
〒026-0301 釜石市鶏住居町第7地割13-7 TEL:0193-29-1625



ホームページ URL: <http://www.thr.mlit.go.jp/minamisannriku/index.html>

